

単元名 **【旧】にぎにぎねん土(立体)**

配当時間 **3時間**

- 単元の目標 (1) 握り方を変えたり、つまみ出し方やのばし方を工夫したりすることができる。  
 (2) 握ってできた形から自分の表したいものを思い付いたり、つくりながら新しい形を考えることができる。  
 感じたことを話したり、友達の話の聞いたりしながら、作品の楽しさや面白さに気付くことができる。  
 (3) 粘土を握った形から思い付いて立体に表すことを楽しもうとする。

**標準的な展開例**

02080112\_001

【準備等】粘土（1kg位）、粘土板、雑巾、霧吹き

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 握ってできた形を生かしてつくりたいものをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の参考作品を見て、感想を話し合う。</li> <li>粘土を握ることで、どんな形ができるか試す。             <ul style="list-style-type: none"> <li>つまみ出す。</li> <li>のばす。</li> <li>穴を開ける。</li> </ul> </li> </ul> <p>★粘土を握ってできた形から、面白いものをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>粘土を握ってできた形をいろいろな方向から見ることで表したい形を考える。</li> </ul> <p>粘土を握ってできた形を生かして、組み合わせたり、工夫したりして表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達のつくったものを見て話し合う。（言語活動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書1・2下 P.12, 13</li> <li>作品の題や場面の様子から、気付いたことを発表させる。</li> <li>粘土をこねて軟らかくして、感触に慣れさせる。</li> <li>握り方を変えたり、指先を使ってみたり、自分の手で使い方をいろいろ変えて試してみながら、確かめたり、周りの友達の方法を真似てみたり、偶然を楽しみながら活動させる。</li> <li>握ってできた形を大切にするように声かけをする。</li> <li>粘土を3種類程度（大・中・小）の大きさに分けさせる。</li> <li>戸惑っている児童には、一緒に粘土を握ったり、形を見ながら話したりして思い付けるようにする。</li> <li>【評】粘土を握った形から思い付いて立体に表す活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。</li> <li>握ってできた形が納得いかずに困っている児童には、もう一度粘土を戻してから、活動を始めることを提案してもよい。</li> <li>【評】作品を通して、握ってできた形から自分の表したいものを思い付いたり、作りながら新しい形を考えたりする「発想や構想の能力」を評価する。</li> <li>どんな形に見えるかを角度を変えさせながら見せて考えさせることで、形の面白さに気付けるようにする。</li> <li>友達がつくったもののよさに注目させる</li> </ul>

【 備 考 】